



野依白山神社の社殿 宇陀市で



野依白山神社 (宇陀市)



木々深い高台に鎮座する野依白山神社は、伊弉册尊を祭神としています。創立の詳細は不明。かつて境内には、佛母寺というお寺がありました。が、明治の廃仏毀釈により廃寺となりました。

(住所) 宇陀市大宇陀野依1047
 (祭神) 伊弉册尊
 (交通) 近鉄榛原駅から奈良交通バ

ス「野依」下車徒歩約5分
 (拝観) 拝観自由
 (駐車場) あり(電話) なし

2月の節分祭では、社務所で大豆12個を火鉢で

務所で大豆12個を火鉢で焼き、焦げ具合で1年の晴雨を占う珍しい神事が行われます。

5月5日の「オンダ祭り」は、田植えの無事と豊作を祈る神事です。始まりは定かではありませんが、衣装箱には1768(明和5)年の墨書が残

この祭りでは、宇陀川を挟んだ約70軒の集落から選ばれた「大頭(男神)」「小頭(女神)」など十数人の神役(全て男性)が田植えの様子をユーマラスに演じるものです。踊り手の「早乙女」も男性が扮します。子どもたちが早乙女の邪魔をし、いたずらをする場面がありますが、「子宝に恵まれますように」の願いが込められています。間食を振る舞う際に即興で掛け合い、配られた者が「ワッ」と声を上げるなど、演者と観客が一体となって楽しめるのが特徴。1996年、県無形民俗文化財に指定されています。

「オンダ祭り」で豊作祈る

(奈良まほろばソムリエの会副理事長 松浦文子)